

デジコンしものせき アンケート集計結果

- アンケート実施期間：令和6年1月20日～2月9日
- 回答者：10名（全参加者20名、回答率50%）
（最終審査会時参加者14名、回答率71%）

■アンケート内容

Q1.最終審査を終えて、デジコン全体についての満足度はいかがでしたか。

Q2.Q1について具体的に満足したこと、不満点などありましたらお聞かせください。

Q3.デジコンを通じて、子どもの居場所に対する興味・関心は高まりましたか。

Q4.Q3に関して、感想や印象に残ったことがありましたらお聞かせください。

Q5.デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことに興味・関心は高まりましたか。

Q6.デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことができるという視点が身につきましたか。

Q7.Q5とQ6に関して、感想や印象に残ったことがありましたらお聞かせください。

Q8.チーム活動について満足度はいかがでしたか。

Q9.Q8に関して、感想やご意見がありましたらお聞かせください。

Q10.デジコンに参加したことでご自身の成長に役立ったと感じたことがあればお聞かせください。

Q11.今回のデジコンを通じて、「こういう機会があればもっと成長できた」ことがあればお聞かせください。

Q12.運営（事務局、メンターなど）について満足度はいかがですか。

Q13.Q12に関して、コメントがありましたらお聞かせください。

Q14.デジコンでできたソリューションをプロジェクトとして進めていきたいですか。

Q15.次回デジコンが開催された時、メンターをやってみたい、もう一度参加者として参加したいなど、お考えがあればお聞かせください。

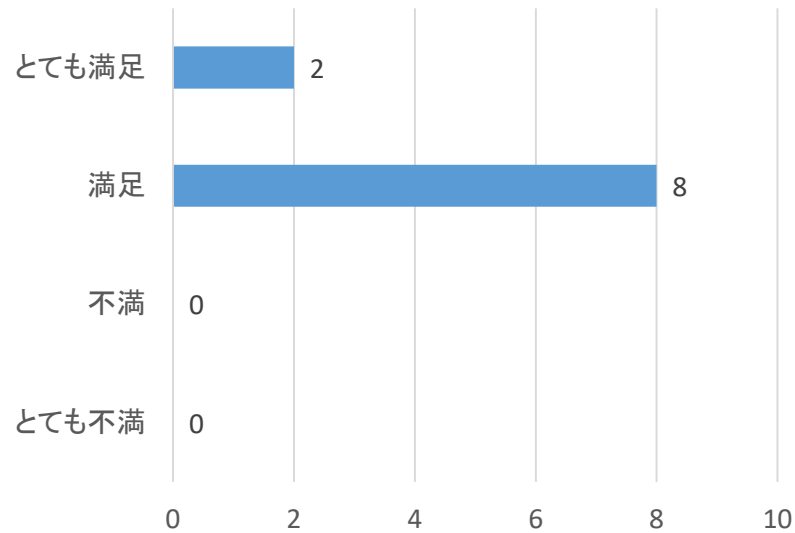
Q16.「子どもの居場所づくり」以外で挑んでみたい課題があればお聞かせください。

Q17.このイベントを知人・友人に勧めたいと思いますか。

Q18. Q17で「思わない」と回答した方は、どのような点が改善されれば知人・友人に勧めたいと思いますか。

Q19.その他、何かご意見等がありましたらお聞かせください。

Q1. 最終審査を終えて、デジコン全体についての満足度はいかがでしたか。



●とても満足

・作業期間と中間発表の往復を経て、取り組むテーマや現場の人たちの視点についてより考えを深めて取り組めたこと。

●満足

・成長につながるアドバイスを、各方面の専門家からいただけること。・評価基準など、もっと丁寧に教えていただけたらうれしいです。

・いい仲間に出会うことができた。実際にさまざまなことを考えたりして困ったり、様々なことを指導いただいた経験から問題への取り組み方、考え方みたいなものが鍛えられたと思った。

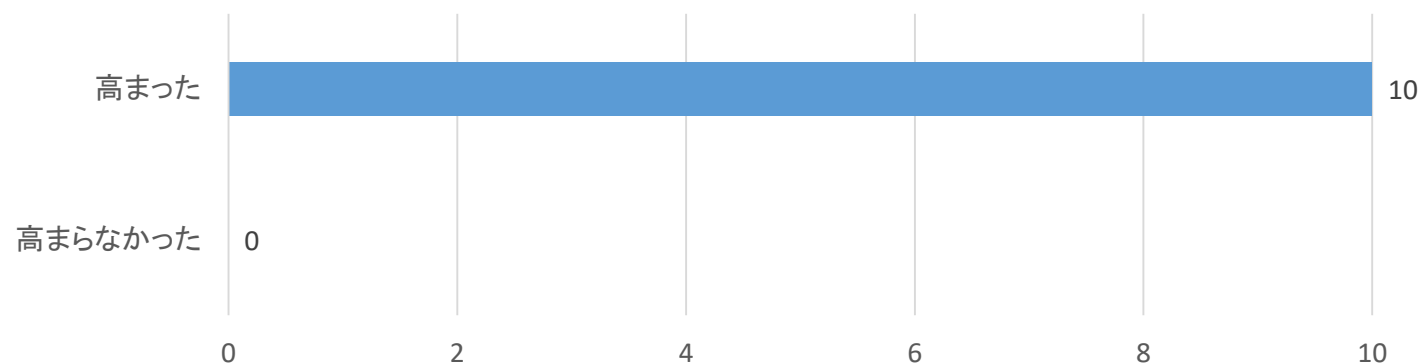
・中間発表などで有識者の方のご意見が聞けたことが非常によかったと思います。

・「子どもの居場所」と広義で難しいテーマだったため、苦戦するところが多々ありました。

しかし、子どもたちの現状と今後を考えるととてもいい機会になったと感じました。

・メンターの方がとても班に協力的で、プレゼン作りのサポートがしっかりしていてありがたかった。

Q3. デジコンを通じて、子どもの居場所に対する興味・関心は高まりましたか。

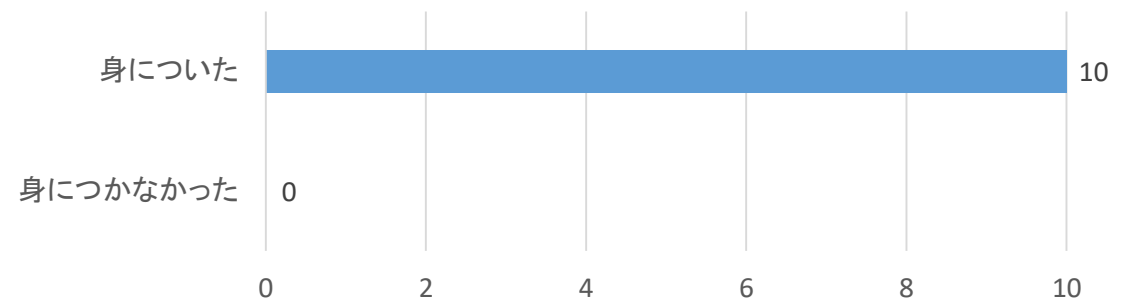
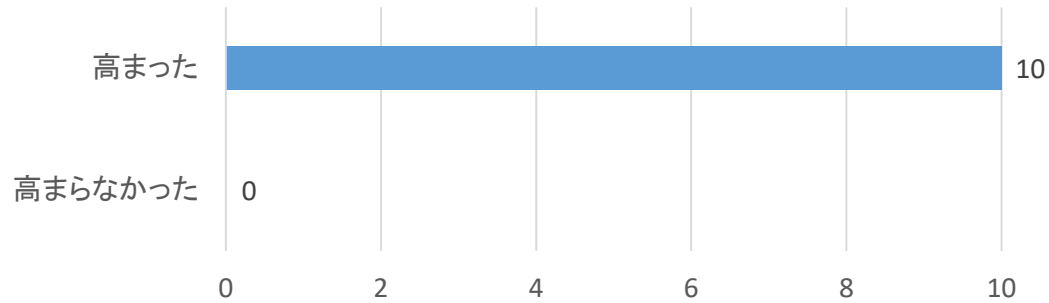


●高まった

- ・子どもたちも含めた地域活性化という考え方も身につけることができた。
- ・最終発表に近づくにつれて、メンバーが本気でターゲットとなる子供たちに必要なことを考え抜いたり、想いを反映させた提案をしていって成長を感じました。
- ・KANANOWAさんたちにヒアリングに行くことで実際の現場を垣間見ることができたと思う。特にKANANOWAさんでの食事の準備を一緒にしたときの経験が印象的です。
- ・自分がヒアリングに行ったからというのがありますが、その時にお話しいただいた皆繫さんの活動目的のお話はすごい印象に残っています。
- ・他の班の発表を聞いて、現状の問題に対してのユニークなアプローチ方法を知れてより関心度が高まりました。
- ・私たちのグループは子ども食堂について考え、ソリューションを提案してきました。この経験から、テレビやSNS等で子ども食堂について取り上げているものなどへの関心が高まりました。
- ・最終発表で全ての班の発表を聞いて、全班クオリティが高かったのが印象的だった。

Q5. デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことに興味・関心は高まりましたか。

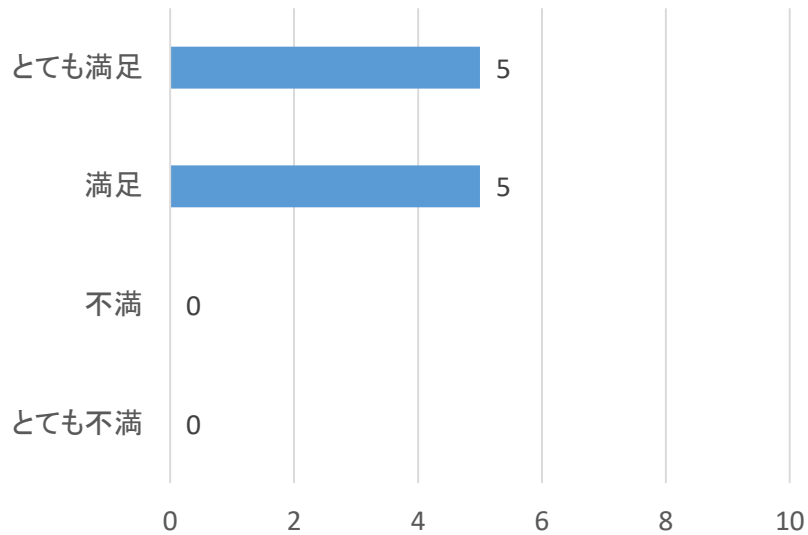
Q6. デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことができるという視点が身につきましたか。



●高まった、身についた

- ・デジタル技術は人間の可能性をさらに広げることのできるツールであり、これからさらなる活用も模索する必要があるとわかった。
- ・将来デジタルを活用した事業を行いたいので、その計画の良い参考になった。
- ・山口さんや川嶋さんがお話しすることは理路整然としていて、もっとお話を聞きたいとおもいました。
- ・そもそも現場で求められるようなアイデアを考案すること自体が難しかったのでさらにそれをデジタルでというのが難しかった。
- ・有識者の方から意見を聞いたことで、より具体的な提案ができたことがよかったなと思います。
- ・現状の問題と今後の展望を繋げ、どのようにしたら実現したいことへ近づけるのか、ソリューションをつかってその展望を実現できる環境作りを目指すことへの興味が湧きました。
- ・様々な視点から1つの物事を考えることで、解決方法も多様にあるということを実感した。

Q8. チーム活動について満足度はいかがでしたか。



●とても満足

- ・チームミーティングを何度も行った甲斐あって、最高の形で終わることができた。
- ・特に喧嘩などもなく、活動が終わってからもメンバーで遊びに行く約束をしました。他の班は空中分解してしまったり、メンバー間の不満を聞いてしまったりしましたが、私たちのグループはそう言ったことが無くてよかったです。
- ・みんなで協力し、参加出来る時とできないときがあったとしても参加出来る時は全力で支え合い、参加出来ない時でも何らかの方法で情報収集をするというチームワークがあったと感じたからです。
- ・チームを維持することの難しさと、チームで何かひとつのものを作り上げることの楽しさを改めて実感出来て良かった。しかし、教えられる前に自分たちで触りある程度理解して使いこなす能力はこの先に役に立つのだろうとも思います。

●満足

- ・1人欠けたのは残念ではあるが、メンバー全員忙しい中で最後までやる気を持って終わられたことがとてもよかった。
- ・ほんとにいい仲間に出会えました。大満足です。ただ、チームはしっかりまとめられる(主体となる)人がいないとうまくいかないことも多いのだなと勉強になりました。"
- ・私の班は全員teamsに入れずメンターの方を經由して情報を得ていました。teamsに入れない班員に対しても可能な方法で情報提供していただけたら嬉しかったです。

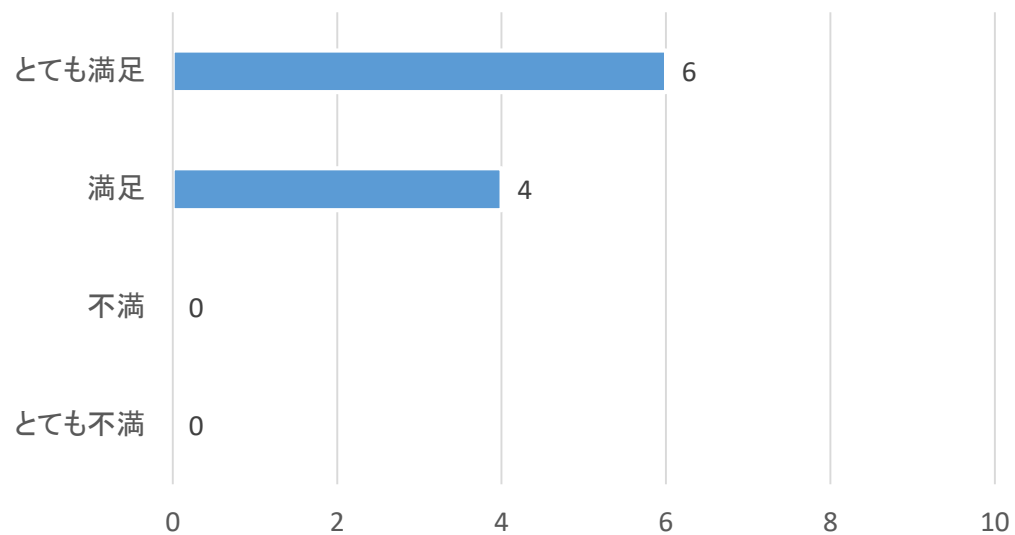
Q10. デジコンに参加したことでご自身の成長に役立ったと感じたことがあればお聞かせください。

- ・課題発見力を養うことができた。
- ・市場分析や課題とニーズの探索がいかに重要かと感じた。これは今後の研究活動や、就職後に非常に大事な視点であると感じた。
- ・自分の限界を知ることができました。
- ・問題解決の考え方やチームで動くことの良さや難しさなどが勉強になりました。
- ・子どもたちを取り巻く環境の問題とそれを改善するソリューションを考えることがとても面白く、それがどれほど有用であるかをチームで協力してヒアリング等で証明していくことに興味を持ちました。
- ・画面遷移を作ったことがなかったので、figmaを使ったアプリの画面遷移制作はとても勉強になった。

Q11. 今回のデジコンを通じて、「こういう機会があればもっと成長できた」ことがあればお聞かせください。

- ・子どもの心理や成長に関わるセミナーを開催していただけると、もう少し子どもたちに寄り添えた考え方を得ることができたと思う。
- ・中間発表などではなく、今回参加された有識者の方々に一気に質問できる場があればよかったなと思いました。
- ・とりあえず満足です。

Q12. 運営（事務局、メンターなど）について満足度はいかがですか。



●とても満足

・サポートがとても充実していて、毎度ミーティングの助言がとても助かった。

・メンターの方がとてもよかったです。彼女がメンターでよかった。私たちよりも一生懸命に、真剣になってくれたため、悔いのない結果となりました。

・非常にご丁寧に対応していただきました。ありがとうございました！

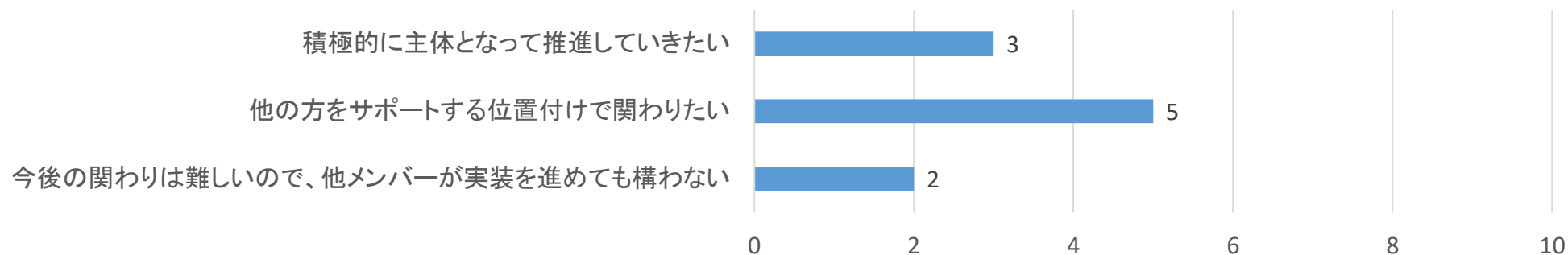
・メンターの方にはお忙しい中、たくさんの助言を頂きソリューションの基盤づくりからブラッシュアップまで大変お世話になりました。私たちの願望とアンケート結果の2面からしか得られなかった情報に第三者視点からの意見を頂くことで、こんな見方になることもあるのだと学ぶことが出来ました。

・まめにアドバイスが貰えたのでありがたかったです。

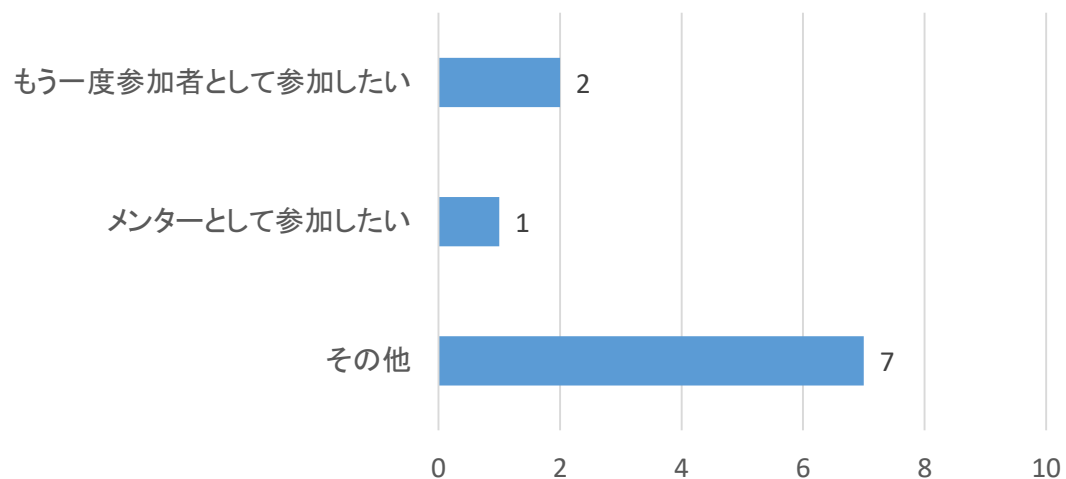
●満足

・立場や職業を分け隔てなく、定期的な運営会議やヒアリングを通して、一体となって子どもの居場所を考えられた良い機会だと感じた。

Q14. デジコンでできたソリューションをプロジェクトとして進めていきたいですか。



Q15. 次回デジコンが開催された時、メンターをやってみたい、もう一度参加者として参加したいなど、お考えがあればお聞かせください。



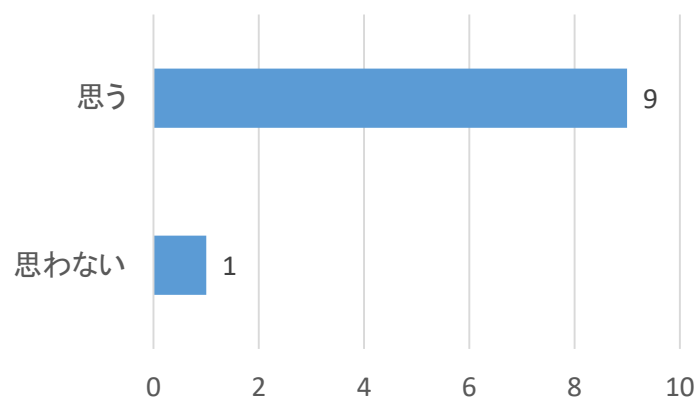
●その他の回答

- ・他にやりたいことがあるので、これから関わるのは少し難しい。
- ・現状参加は控える
- ・社会人になるため、時間的な余裕が取れないかと思います
- ・メンターとして参加してみたい気持ちともう来年はいいかなという気持ちが半々ぐらいです
- ・就活等の予定が分からないので断言はできませんが、予定が合えば参加してみたいと思います
- ・参加者として参加したいが、実習や卒論などで難しいと感じています。
- ・テーマによっては参加したい

Q16. 「子どもの居場所づくり」以外で挑んでみたい課題があればお聞かせください。

- ・ 母親、父親の居場所をつくる

Q17. このイベントを知人・友人に勧めたいと思いますか。



● 知人・友人に勧めたいと思うための改善点

- ・ 自分の友達が興味を持ってそうなテーマになれば勧めてみようと思えると思います。あとは変な話これがサークル活動かなんかだったらサークルは部員を増やそうとして勧誘するのが自然と思うので勧めていたかもしれないです。

Q19. その他、デジコン全体に対してご意見等がありましたらお聞かせください。

- ・ 村重さんとの会議が必要なのは分かりますが、会議をする旨をその週や2日前などに言われても予定が合わない。特に最終発表の前は切り詰めているため、やると決まっている会議は予め伝えておいてほしいです。
- ・ 半年間ありがとうございました。